

令和4年度 第1回 三重県議会「議員勉強会」開催要領

■目的

若年層を中心として地方から人口が流出していることにより、生産年齢人口が減少し、地域社会の担い手が減少するなど、社会的・経済的な課題が生じている。

三重県においては、大学進学時と卒業後の就職時に県外へ多くの若者が転出していることから、県内の高等教育環境を充実させ、三重県を担う人材を育成・確保し、若者の県内定着を促進することが必要とされている。

県内就職率が7割を超える群馬県内の大学の学長から、地域に貢献する人材育成、学生の県内定着への取組を伺い、今後の三重県における大学の在り方について考える。

■日時・場所

令和4年10月3日(月) 13時30分～15時
三重県議会議事堂3階 全員協議会室

■講師

共愛学園前橋国際大学

学長 おおもり 大森 あきお 昭生 氏



■演題

「若者の県内定着に向けた大学の在り方」

【講師紹介】

大森 昭生（おおもり あきお）氏

1968年 宮城県仙台市生まれ

1996年 学校法人共愛学園に入職、共愛学園前橋国際大学国際社会学部長、副学長を経て2016年より現職。

文部科学省では「中央教育審議会教育振興基本計画部会」、「同大学分科会」等、内閣官房では「地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議」、「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律の施行状況の検討に係る有識者会議」、経団連では「採用と大学教育の未来に関する産学協議会地域活性化人材育成分科会」の委員を歴任の他、群馬県青少年健全育成審議会長、前橋市デジタル田園都市国家構想アーキテクト統括、県都まえばし創生本部有識者会議座長等、地域における各種公的委員を多数務め、各地での講演多数。

3児の親で育児休業を2回取得。群馬県総合表彰（男女共同参画分野）。全国の学長が注目する学長ランキング1位（大学ランキング2023）